

ゴトに勝つ「高石隆」

4

サブ基板のカバー隙間から 器具を差し込んで改ざんか

キュロットのものを盗撮
スマートフォンを
財布に乗せて誤魔化す

2、3月と爆弾低気圧が相次いで発生して、例年にないくらい全国的に降雪があった冬がやっと終わりを迎え、春の陽気と共に多発するのが変質者による不正行為です。痴漢や露出などの事案が増えるのが春といわれておりますが、近年パチンコ店で多く発生しているのが女性スタッフへの盗撮行為です。

先日、北海道のあるホールで発生した盗撮は、被害者の女性スタッフが常連のお客様から「台清掃時にキュロットの中を盗撮されていたよ」との通報で被害に気がつきました。通報から役職者が防犯カメラの録画映像をチェックし犯行が確認できたので、盗撮犯の行方を捜索したところ、駐車場の車の中で該当人物を発見したため、事情を聞くために役職者が窓ガラスをノックしました。

すると、盗撮犯は窓ガラスを半分だけ開けたもののこちらからの問いかけには無視し、数秒後に現

れた連れの女性が助手席に座ると同時に車を急発進させて逃走させてしまったそうです。

女性スタッフの後ろで
自分の膝を触るふり
同じ店で複数回と判明

その後にもう一度、防犯カメラの録画映像をチェックしたところ、盗撮犯はこの日二度に渡って同様の犯行を行っていたことが判明しました。手口としては、スマートフォンを財布に重ねてカモフラージュして、キュロットの中に差し

込んで動画撮影していたようです。その数日後、別店舗でも盗撮事案が発生しました。発生時期が近かったので、同一犯によるものかと思いきや別の男による犯行でした。発見の経緯は、役職者が女性スタッフの後を追うなどスタッフを物色するように店内を徘徊する不審者に気がついたことからでした。

その人物の行為を注視していた役職者が危険を察知して「不審者がいるので来て欲しい」と警察に通報しました。その後もこの不審者の行動をチェックし続けていたところ、女性スタッフが屈みこんで玉箱を持ち上げる時にすかさずこの不審者が近寄ってきて、さらに自分の足を女性スタッフの膝下に近づけてから自分の膝辺りを触るといふ謎の行動が見受けられました。おそらく、このタイミングで自分の膝を触るふりをしながら盗撮を行ったのだろうと推測し、その旨を臨場した警察官に伝えました。

その後、不審者を追尾した男性スタッフから不審者が車に乗り込んだという連絡を受けて、警察官が車中の不審者に事情聴取を行い

ました。警察官の事情聴取により、やはり犯人は膝辺りにスマートフォンを忍ばせて盗撮を行っていて、そのスマートフォンには同店で撮影された写真や他店で撮影されたと思われる数々の盗撮写真が見つかったそうです。実は、この不審者は、以前にも来店しており、その際も盗撮を疑える怪しい行動をとっていたそうです。

抑えられない症癖 店員が取り押さえたら 他店の写真も出て

盗撮という犯罪は性癖に由来しているもので、癖（へき）とは「くせ」であり、常習性が高くなかなか治すことが出来ないとも言われています。本来、犯罪者を取り締まる警察官でさえ、性癖を抑えることができずにパチンコ店で盗撮したという事件も今年になって発生しております。

2月某日、女性のスカートの下にカメラ付き携帯電話を差し出したとして、県迷惑行為防止条例違反（ひわいな言動）の疑いで、愛知県警豊田署生活安全課の警部補が現行犯逮捕されました。逮捕さ

れた警部補は、パチンコ店で20代の女性店員の背後からスカートの下に携帯電話を差し入れたとき、容疑を認め「動画を撮影し、見つかった後で消した」と供述していたとのことです。

県警監察官室などによると、店内を見回すなど不審な行動をしていた容疑者を男性店員が見つけたところ、容疑者は店外に走って逃げ出し、それを男性店員が取り押さえたとそうです。その後、3月になって余罪が判明し、他のパチンコ店で女性店員3人のスカート内を盗撮したとして県迷惑行為防止条例違反の疑いで、この警部補は再逮捕されております。

不審者には声かけ有効 見つけたら警察に通報 現行犯逮捕が望ましい

パチンコ店においては、「人が密集している」「被害の対象となる



財布とスマホ重ね

におかれましては、盗撮防止対策として、挙動不審な人物や女性スタッフを追いかけているような不審者がいた場合に「何かお探してですか？」などの声掛けを実施して「犯罪がやりづらい環境を作る」ことや、スカートやキュロットの下にスパッツなどを着用させるなどの対策を実施していただきますようお願いいたします。

盗撮犯が現れた際には、「警戒して追いつ返す」といった手段も有効ですが、こういった犯罪者は捕まるまで犯行を続ける傾向にあることから、「警察に通報し警察官による現行犯逮捕」が望ましいと考えられます。その際には、犯行現場の確認及び犯行シーンの録画をおこない、証拠を揃えておくようお願いいたします。

人物（女性スタッフ）が常時いる」「お客様の対応を行っている際、その対応に集中するため、周囲への注意が散漫になる」「シャッター音がパチンコ台の音等がかき消される」「店内でスマートフォンを操作している人物が多い」など様々な盗撮しやすい条件が揃っていることから、盗撮がおこなわれやすい場所の一つとなっているようです。

このような状況から皆様の店舗

そして、基本的には盗撮犯を発見した際には、ホール従業員が盗撮犯を取り押さえるという危険な状況が発生することのないようお願いいたします。盗撮犯もゴト師と同様で捕まえようとした場合、逃げるために手段を選ばず、ホール従業員への暴行や一般のお客様に危害が及ぶことも考えられますので、盗撮犯（犯罪者）との接触



過去に確認されたかしめの異常
(かしめの内部に油分が付着している)

は警察官に任せるよう指導を徹底してください。

この指導を怠ってホール従業員が受傷事故を負った場合には、経営者及び会社が「安全配慮義務違反」として責任を問われることになりまして十分に注意をお願いいたします。

携帯みて不審な遊技 大当たり引き続ける 検査したら不正ロム

エンターライズ製のスロットでは「バイオハザード5」にて大量

の不正サブ基板が見つかったとして、メーカーによるサブ基板の交換点検が実施されたばかりですが、2月の末頃に新たにエンターライズ「モンスターハンター月下雷鳴」の複数台から不正サブ基板が見つかったとの情報が飛び込んで来ました。

不正サブ基板に関しては、以前から同メーカーの「バイオハザード5」やサミー「化物語」、大都「押忍！番長2」などの人気機種で被害事例が発生していました。

これまでの不正サブ基板は、かしめ周辺やケースに傷跡やゴミが残っているという様な発見が比較的容易なものが多く、まれに目視での発見が困難な物があったという状況でしたが、今回発見されたものは今までの手口とは違う方法で実行された可能性が高く、とても嫌な感じを受けました。発見の経緯は次のような状況だったそうです。

中古で入れた「モンスターハンター月下雷鳴」で、設置後なかなか割が取れない状況が連日続いていたことから何かゴトでもされているかもしれないと警戒を強化して、遊技しているお客様にも注意

していたところ、コンソールと携帯電話を見ながら遊技している挙動不審な人物がわずか数千円で大当たりを引き当てる状況を何度も目撃しました。

この状況に不安を感じて、この遊技機のサブ基板を検査に出したところ、設置していた「モンスターハンター月下雷鳴」の複数台に不正サブ制御ロムが混入していたことが判明したとのことです。ちなみに、この不正サブ制御ロムが摘出された遊技機のサブ基板の状態は、サブ基板に貼付されている封印シールの剥離痕等は無く、サブ基板が開封された痕跡は見つからなかったとのことです。

かしめや封印シールに 開封の痕跡がない わずかな擦り傷が頼り

「モンスターハンター月下雷鳴」のサブ基板には、かしめによる対策の他、サブ基板ケースが開封された場合、サブ基板自体が筐体から外された場合に痕跡が残るようにメーカー封印シールを各2か所計4か所に貼付する対策が施されておりあります。

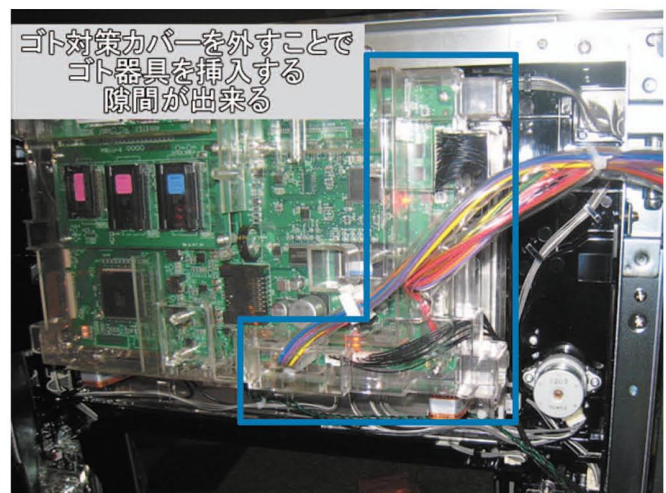
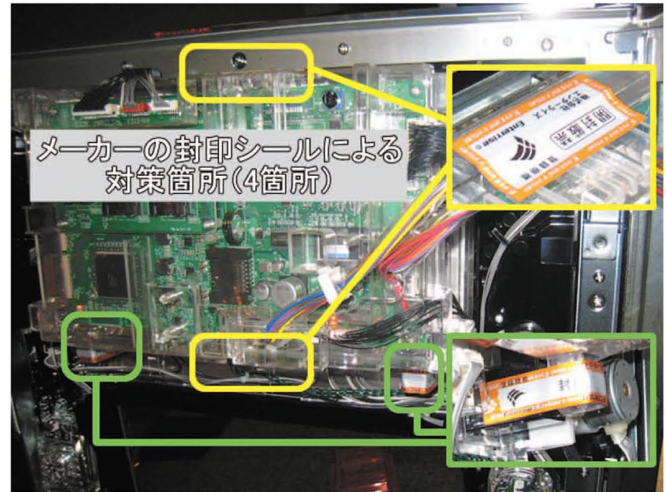
しかしながら、見つかった不正サブ基板からは、かしめの開封痕跡やこれらのメーカー封印シールの開封痕跡が見受けられなかったことから、正規のサブ基板をもとに、かしめや封印シールを精巧に偽造して作成された不正基板への丸ごと交換という、大掛かりな不正品の製造という可能性も考えることも出来ます。

しかし、一部情報によると「サブ基板のプリント基板上や配線コネクタ部に擦り傷があった」とのことから、サブ基板右側にビス留めされたカバーを取り外すことで生じる隙間からサブ制御ロムを取り出してサブ基板自体は正規のままでサブ制御ロムのみ交換するという手口か、または隙間から特殊な器具を差し込んでサブ制御ロムのデータを改ざんするという手口かもしれません。

現状として、情報を収集したところで一番可能性が高い手口としては、隙間から特殊な器具を差し込んで正規品のサブ制御ロムのデータを改ざんして、見た目は正規品でも中身は不正サブ制御ロムという状態にする手口の可能性があると思われれます。

弊社JSSの関係先で被害が出た訳ではないので、まだまだ情報が不足している状態ですが、確実に今後の主流になりうるゴト手口なので「モンスターハンター月下雷鳴」だけでなく、他のエンターライズ製のスロットはもちろん他メーカーのART/AT機でも注意をお願いいたします。

モンスターハンター月下雷鳴



不正発覚を抑えるため不正プログラムにリミッター制限掛ける

不正サブ基板が仕込まれた遊技機は、セッパ打ち（不正プログラムを起動させる特殊な遊技手順）によってART/AT機の誘発や連チャンがコントロールされます。最近の不正サブ基板では、打ち子の暴走などの抜きすぎによって派手の発覚を予防するために、不正プログラムにはリミッター制限が掛けられています。

1500枚〜2000枚、もし

くはボーナス何回で不正プログラムが終了するという仕様になっているとの情報もあり、ますます巧妙が進んでいるようです。

「日本は狭すぎる」や「サラ・出世回胴編」にゴト未確認情報あり

そして、ロデオ「サラリーマン出世回胴編」と大都「押忍！サラリーマン番長俺に日本は狭すぎる」で、早くも不正が疑われるサブ基板が見つかったとの未確認情報が入ってきております。ロデオ「サラリーマン出世回胴編」に関しては、現時点では不正が疑われ

るサブ基板から見つかった異常等の詳細については不明ですが、サブ基板のゴト対策が強化（サブハynesの光ファイバー化やサブ基板かしの追加など）されたものの、先日不正サブ基板が発覚したサミー「化物語」等と同様のサブ制御ロムが使用されているため、ゴト師にサブ基板ケースの開封・封印や正規データの読み取り・改ざんがおこなえる環境があれば、物理的には不正サブ基板の作成は可能であるものと思われれます。

また、大都「押忍！サラリーマン番長俺に日本は狭すぎる」に関しては、サブ基板のサブ制御ロム付近やかしめから傷が見つかった

とのことで、問題のサブ基板が不正品であるとの断定はされておりませんが、同メーカー機種種の「押忍！番長2」や「吉宗」でも不正サブ基板が出回っていることから、類似筐体構造で設置台数も多い大都「押忍！サラリーマン番長俺に日本は狭すぎる」が次なる標的とされた可能性は十分にあります。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち
警備会社の指導員、セキュリティ会社を経て2003年、有限会社ジャパンセキュリティサービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。かわら、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「二期会」が座右の銘。